



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月25日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 松下 祐二
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,576	14.0	7,461	22.3	8,385	22.6	6,443	31.8
29年3月期第1四半期	13,658	4.6	6,098	7.8	6,842	1.5	4,886	5.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 6,664百万円 (82.0%) 29年3月期第1四半期 3,661百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	72.44	
29年3月期第1四半期	54.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	200,878	179,940	89.6	2,022.92
29年3月期	200,061	177,500	88.7	1,995.50

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 179,940百万円 29年3月期 177,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		42.50		47.50	90.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		47.50		47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	5.8	30,000	7.7	33,600	4.2	24,000	2.7	269.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	99,600,000 株	29年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	10,649,333 株	29年3月期	10,649,333 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	88,950,667 株	29年3月期1Q	88,950,698 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成29年4月25日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足資料	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国や欧州の政治動向や金融資本市場の変動の影響など、海外経済が我が国の景気を下押しするリスクも依然として顕在しております。

当情報サービス業界においては、システムの統合や更新需要の増加等により、企業のシステム投資は回復傾向が見られます。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、製販一体体制を継続し、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。高まりつつあるクラウドコンピューティングのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、システムサポート事業も安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高155億76百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益74億61百万円(同22.3%増)、経常利益は83億85百万円(同22.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は64億43百万円(同31.8%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。一方で、ハードウェアの売上高は減少いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、81億51百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は38億83百万円(同21.6%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、55億24百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は32億76百万円(同22.0%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

業務用パッケージソフトの販売が好調に伸長したことに加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、19億円(前年同期比17.9%増)、営業利益は3億1百万円(同37.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は961億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ、19億40百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、51億54百万円であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が88億21百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が7億4百万円計上された一方で、法人税等の支払が47億62百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、28億70百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出が34億4百万円計上されたこと及び償却債権の回収による収入が4億36百万円計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、42億25百万円であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、豊富な受注残を確保しながら業績のオペレーションを行っております。当第1四半期連結会計期間末現在、業績および受注残は概ね順調に推移しております。よって、平成29年4月25日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,121	96,180
受取手形及び売掛金	9,520	8,372
商品及び製品	158	101
仕掛品	507	455
原材料及び貯蔵品	6	28
その他	1,761	2,053
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	110,074	107,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,022	2,996
土地	27,220	27,620
その他(純額)	1,017	3,929
有形固定資産合計	31,259	34,545
無形固定資産		
その他	78	73
無形固定資産合計	78	73
投資その他の資産		
投資有価証券	55,263	55,855
その他	3,389	3,216
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	58,649	59,067
固定資産合計	89,987	93,687
資産合計	200,061	200,878

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,656	3,124
未払法人税等	5,217	2,694
賞与引当金	2,372	3,286
その他	4,320	4,723
流動負債合計	15,566	13,829
固定負債		
役員退職慰労引当金	893	899
退職給付に係る負債	5,908	5,910
資産除去債務	146	147
その他	45	152
固定負債合計	6,993	7,108
負債合計	22,560	20,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	157,260	159,478
自己株式	△22,137	△22,137
株主資本合計	173,831	176,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,373	5,595
土地再評価差額金	△1,705	△1,705
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	3,669	3,890
純資産合計	177,500	179,940
負債純資産合計	200,061	200,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	13,658	15,576
売上原価	4,583	5,053
売上総利益	9,075	10,522
販売費及び一般管理費	2,976	3,060
営業利益	6,098	7,461
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	217	227
投資有価証券売却益	0	—
持分法による投資利益	496	674
受取賃貸料	24	0
その他	34	50
営業外収益合計	774	953
営業外費用		
賃貸費用	29	29
その他	1	0
営業外費用合計	30	29
経常利益	6,842	8,385
特別利益		
償却債権取立益	—	436
特別利益合計	—	436
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	6,842	8,821
法人税、住民税及び事業税	2,072	2,559
法人税等調整額	△116	△180
法人税等合計	1,955	2,378
四半期純利益	4,886	6,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,886	6,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	4,886	6,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,039	387
退職給付に係る調整額	47	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△233	△166
その他の包括利益合計	△1,225	221
四半期包括利益	3,661	6,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,661	6,664
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,842	8,821
減価償却費	89	114
持分法による投資損益(△は益)	△496	△674
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
償却債権取立益	—	△436
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	835	914
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△67
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	143	2
受取利息及び受取配当金	△218	△228
固定資産売却損益(△は益)	0	—
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,197	1,147
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105	85
仕入債務の増減額(△は減少)	△445	△531
その他	205	56
小計	8,005	9,212
利息及び配当金の受取額	694	704
法人税等の支払額	△4,460	△4,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,239	5,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15	△3,404
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	—
償却債権の回収による収入	—	436
その他	—	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△2,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,225	△4,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,225	△4,225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	0	△1,940
現金及び現金同等物の期首残高	82,502	98,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,502	96,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足資料

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		増 減
	金額	構成比	金額	構成比	
システムインテグレーション事業	7,185	52.6	8,151	52.3	965
システムサポート事業	4,860	35.5	5,524	35.5	663
オフィスオートメーション事業	1,612	11.9	1,900	12.2	288
合 計	13,658	100.0	15,576	100.0	1,917

②受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	8,256	16,572	6,101	12,458	△2,155	△4,113
システムサポート事業	5,470	20,450	6,178	22,390	707	1,940
オフィスオートメーション事業	1,683	660	1,898	675	215	14
合 計	15,410	37,683	14,178	35,524	△1,231	△2,158

以上